



# 今治城のお堀には どんな 生物が 生きている のかな？

2024

9.21 SAT

13:00 ▶ 17:00 受付12:30

場所 ▶ はーばりー1F みなとホール

対象 ▶ 今治市内 小中学生親子 50名

日本のお城で海水のお堀が設置されているのは香川県の高松城、大分県の中津城と今治城のお堀だけです。今治城のお堀は人工的な磯の環境になっておりウミウシやアメフラシなど常時観察できる貴重な生態系が形成されています。この稀有なお堀の環境を後世まで伝え繋げていくには今どんな生物がいるのか知っておく必要があります。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンター(三谷)

Tel 080-3168-7681 / mail : icpc@major.ocn.ne.jp

主催: 特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンター 後援: 今治市・今治市教育委員会

お申し込み ▼



# お堀の環境はどうなっているのかな？

今治市民の誇りである今治城。

お堀の底は、足を取られ進めないぐらい泥が堆積している所があります。

流れと泥の堆積化の関係性を地球環境基金助成金の助成を受け調査します。

13:00 開会式／内容説明

13:30 移動→今治城

内港と今治城の関係を途中で観て、築港について説明

14:00 犬走からお堀の生物観察

※採取した生物は堀に戻します。

16:00 まとめ

17:00 ↓ 閉会式



講師 藤原 陽一郎

瀬戸内海の海洋漂着物の調査研究に携わる。海岸清掃や海の生き物観察指導にも参加。ビーチクリーンへの協力のほかに、自然科学をテーマに活動を継続。また、淡水緑藻のシャジクモ科の調査では、県内のため池、水田環境、汽水環境を網羅的に調査し、「愛媛県で確認されたシャジクモ科のリスト」を執筆中。水草研究会、愛媛植物研究会に所属し、研究成果を発表しています。

令和5年 底質のドローン調査

今治城のお堀の底 - 流れと浮泥の関係性 -



YouTube

